



ICOM-ICMS 東京大会

地域に根差した防災セキュリティネットワークの構築

～ 連携が生む相乗効果の事例研究 ～

日時

2023年10月11日(水)・12日(木)・13日(金)

会場

東京国立博物館・講堂

■ ICOM-ICMS (International Committee for Museum Security・博物館セキュリティ国際委員会)

ICOMは、博物館の進歩発展を目的として創設された国際的な非政府機関です。ICMSは、そのICOMの国際委員会の一つで、セキュリティ、防火、防災の各分野の専門家やスペシャリストが集まり、来館者や文化遺産を盗難、野蛮、火災、破壊から守るための教育、訓練、援助を行うことを目的とした団体です。

主催：ICOM-ICMS、ICOM日本委員会、日本博物館協会、東京国立博物館、東京富士美術館

後援：全国美術館会議

協力：ビクトリア&アルバート博物館、ハッソ・プラットナー財団、テート・ギャラリー、ロサンゼルス・カウンティ美術館、河南博物院

大会プログラム

10月11日(水)

会場

東京国立博物館・講堂

- ・開会セレモニー
- ・記念集合写真
- ・基調講演
- ・研究発表

参加費無料

10月12日(木)

会場

東京国立博物館・講堂

- ・研究発表
- ・ICMS 次年度総会のお知らせ

参加費無料

10月13日(金)

会場

世界遺産・日光の社寺

- ・エクスカージョンツアー

参加費無料 ※飲食代、拝観料は除く

【ICOM - ICMS 東京大会】

昨今、国内外における博物館・美術館の作品の盗難、紛失、棄損事件や自然災害による被害が後をたたず、グローバル化を背景とした社会状況に鑑み、日本の博物館・美術館の防災セキュリティの意識向上とその体制を構築することが急務となっております。国内外の博物館・美術館とのグローバルなネットワークを構築し、防災セキュリティ意識の向上を図るとともに、日本の実情に合わせた効果的・実践的な防災セキュリティ体制の構築をするべく、ICOM（国際博物館会議）の委員会の一つであるICMS（博物館セキュリティ国際委員会）の年次大会を東京にて開催いたします。

※参加申込方法やその他の詳細は ICOM 日本委員会 HP 等にて随時発信予定